「サポーターズミーティング」議事録

日 時:2022年9月9日(金)19:00~21:50

場 所:仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

主 催:サポーター有志

協力:ベガルタ仙台・市民後援会

出席者:中心部を含むサポーター約50名

意見交換<○:質問者、●:中心部>

(注)当日の意見交換において、個人を特定できるなど議事録の公開が不適切と思われる内容については、削除または趣旨が変わらない範囲内で表現を一部修正しています。

- ●:6 月に続いて2回目のサポーターズミーティングになる。今回は急な開催だったためサポーター側の主催としたが、市民後援会とも連携している。チームは厳しい昇格争いになっているが、これからの残りの試合をどう対応していくかについて皆さんと話し合いたい。
- ○:9/3 水戸戦で、どうしてカントリーロードを行わなかったのか。
- ●: 声出しができる最初の試合として、カントリーロードをやりたい派とシーズンを通した中で水戸戦の応援をどう位置付けるかのせめぎ合いだったと思う。優勝での昇格の目標が事実上困難になった中で、我々は後者を選んだ。応援は試合開始から入ることにした。
- ○:カントリーロードを楽しみにしていたサポーターが多かったのではないか。
- ●:それもわかるが、あの状況においては殺伐とした雰囲気にして「やるしかない」という方向に持ってくのが良いと判断した。それでカントリーロードまではやらず、試合開始からの応援にした。選手もそういった状況を乗り越えられないようなメンタルでは昇格なんて言っていられないという思いもあった。楽しい応援も理解はするが、勝つための応援というのを常に考えている。
- ○:ピッチ内アップ時の選手の様子を見ていたら、動揺が感じられた。選手に危機感を持ってもらうという意図もわかるが、あの試合に関しては別の対応でも良かったのではないか。
- ●: 昔の選手と違って、今の選手はそういう場面に弱いのは確かに感じている。サポーターからのメッセージに対して正面から向き合うリーダー的な選手もいなくなってきた。選手のハートに響く応援をしたいが、そこは我々も正直困っているので、皆さんの意見も聞いてみたい。
- ○:水戸戦で、どうして最初のタイミングで「刃」を歌ったのか。最初から刃の横断幕も出していれば選手の反応も違ったかもしれないが。
- ●:確かに最初から横断幕を出せば良かったというのは感じている。ただ、試合前はそこまで手が回らなかった。
- ○:カントリーロードをやらないことや刃を歌うことは、もっと早く現場のサポーターに伝えるべきだったのではないか。
- ●: 昔と違って SNS が普及しているので、そういう情報は拡散されてしまう。今回の件に限ったことではないが、応援に関して情報が早く漏れてしまうことで不利になったり、こちらが意図した応援にならなくなってしまうこともある。そういう状況は理解してほしい。
- ○:情報漏洩の心配はあるのかもしれないが、現場のサポーターが、当日の応援のやり方などをわかるような方法を何か工夫できないか。
- ●:何か良い方法があれば教えてほしい。
- ○:以前、アウェイの試合でコールリーダーからトラメガで「応援は腹から声を出してほしい」と言われて納得したこ

とがあるが、コロナで難しい面があるとはいえ、現場でトラメガをうまく使って告知する方法はあるのではないか。中心部のポリシーは大事にしてほしいが、一方でスタジアムでの応援をエンターテインメント的に考えているサポーターもいるので、その歩み寄りだったり、スタジアム全体の士気の向上にもつながると思う。

- ●エリアによってトラメガを使えない場所もあるが、良いアイデアだと思う。
- ●スタジアム全体の士気で言うと、水戸戦では手拍子をやりながらカモンなどをやったが、すごく難しかった。スタジアム全体を巻き込みたくてそうしたのだが、一方で声が出なくなるという弊害もあって難しい。
- 〇: 声を出す人は手拍子をしなくて良いと言ってしまってもいいのではないか。 とにかく声を出してくれと。
- ●:仙台のサポーターは、これまで手拍子をしながらの応援に慣れていなかった。 声出しエリアが限られている状況下では、特にホームでは手拍子が応援の武器になる。よく考えていきたい。
- ○:エリア毎に、声出しエリアでは声出しを集中的にやり、その他のエリアでは手拍子を集中的にやるというように、メリハリを付けた方が良いと思う。
- ●:その方法は良いと思うので、今後の参考にしたい。メインスタンドなどでせっかく手拍子の応援が定着してきたのに、一部で声出しが解禁になったからといって、声出しエリア以外のそういった人たちを置き去りにしたくはなかった。声出しに加えて、そういった応援も上積みにしたいと思っていた。
- 〇:指定席で応援しているが、水戸戦ではスタンドに配置されていた歌詞カードで応援歌を思い出したりもしていたし、置き去りにされたという感覚はなかった。ただ、手拍子がなくなった時にどれに合わせればいいのかという心配はしていた。今後も手拍子が続くのであればありがたいが、誰かが音頭をとる必要はあると思う。みんなが合わせようという意識はあるが、どうしてもバラバラになってしまうこともある。
- ●:スタジアム全体が歌+手拍子で応援できるのが理想と思っている。できるところからやっていきたい。
- ○:ゴール裏で応援しているが、太鼓を高い位置でたたいてほしい。太鼓が見える位置にあれば、我々はそれに合わせようとする。そうすると、自然に合ってくると思う。
- ●:現状、声出しエリアはバックスタンド側だけであり、ゴール裏については手拍子だけになっている。そこに太鼓を置くのかも含めて難しい問題があり、今後ゴール裏の方も含めて考えていきたい。
- ●:それは、ゴール裏からでも見える位置に太鼓を置いてほしいということか。現状でも(脚立を利用するなど)最大限高い位置に太鼓を置いており、見ようと思えば見えると思う。ここに参加しているような意識の高い方であれば太鼓で修正できると思うが、一般のライトなサポーターであればそこまでは難しいと思う。
- 〇:「リズムが合わなくなってきたら太鼓を見ればいい」というのをうまく伝えられると良いのだが。
- ●:難しいのは、ずれている人というのは最初そういう認識はなくて、気付いた時には戻すのが難しくなっているということ。そうなる前の対策というのは、ゴール裏の方を中心に考えていく必要があると思う。PA 等の機材を置くのも予算の問題があって難しいと思う。
- ○:残りの試合で何か変えないといけないと思うが、最近の応援歌のテンポが遅すぎるのではないか。もっとアップテンポでやれると選手にも伝わると思うので検討してほしい。
- ●:よく言っていただいたと思う。自分もそれは感じていた。ここ数年に比べて、少しはアップテンポを意識はしているが、試合展開に応じた対応など考えていきたい。
- ○:マスクをしている影響もあると思うが、声が通らなくなっている。それを考えるとキーを低くした方がスタジアム 全体に響くのではないか。
- ●:それも確かにあって、リードを低く出してもみんなから高いキーで返ってくることもある。どうしても最近の高いキーに慣れてしまっていることや、テンションが上がってキーが高くなってしまうこともあると思う。そこは今後も注意していきたい。
- ○:残りの試合では、メッセージ性のある白幕を多く出して、選手のハートに火をつけるようなことをやってもいいの

ではないか。

- ●:その準備は考えている。タイミングをよく考えて出していく。
- ○:選手がサポーターに整列で挨拶に来た時に、メッセージ性のある応援歌や声で選手を鼓舞するのも有効ではないか。
- ●:最近の試合でも挨拶時に選手と掛け合いをしたことがある。状況に応じて対応している。
- ○:今後、プレーオフを見据えていく必要があると思うが、応援の方向性をどう考えているか。
- ●:プレーオフを見据えた準備は必要だと思うが、まずは目の前の試合を一つ一つしっかり対応していくことだと思う。ここまできたら、中心部とか一般とか関係なく、サポーター人ひとりが目の前の試合に対してどういう思いで向き合っていくかだと思う。プレーオフに向けた準備というよりは、一戦一戦に向けた準備をしっかりやっていくことが大事だと思っている。一番大事なのは、クラブと一緒に戦っていくことだと思う。
- \bigcirc :明日のアウェイ大分戦(9/10)ではカントリーロードをやるのか。
- ●:最初にカントリーロードについて意識合わせをしておきたい。仙台では、選手入場時は「カントリーロード」というイメージが定着しているが、必ずしもカントリーロードでなくてはいけないとは思っていない。状況に応じて選手入場時の曲を変えてもいいと思っている。例えば追い詰められた状況では「レッツゴー」で迎えるのもあるかもしれないので、こういう考え方もあるというのは持っていてほしい。この場でも意見は聞くが、大分戦の判断については、最後は現場に来ているサポーター同士で決めようと思っている。
- ○:試合によってはカントリーロードがなくても良いと思ってはいるが、明日の大分戦は監督が替わって再スタートを切る大事な試合であり、選手が勝利に向かっていける最大限の応援にしてほしい。
- ●:そこは難しい判断になる。変わった姿を見せてもらってからという考えもある。我々も悩んでいる。
- 〇:大分戦ではカントリーロードも含めて強度を上げて応援し続けたいとは思うが、ここまで4連敗しているということも考える必要がある。昇格を目指すチームが4連敗というのはあり得ないこと。そういう状況の中で同じ強度の応援を続けるのは選手とのなれ合いとも考えられる。メリハリを付けるのも大事。個人的な考えにはなるが、例えば前半までは幕も出さず応援もしないで、選手の覚悟を問う。それで前半の内容次第で後半どうするかを決めても良いと思う。
- ●:その考えはよくわかる。大分戦の応援をどうするかはまだ決めていない。今の意見も参考になるし、現地でみんなの意見も聞きながら決めたい。迷っているが、判断は現場に任せてほしい。
- ○:今の意見には共感できる。聞いていてそれも一つの方法と思った。2年前のアウェイガンバ大阪戦の成功体験もある。
- 〇:水戸戦後に水戸サポーターが SNS で「仙台がカントリーロードをやらなくて我々は助かった」とつぶやいていた。難しい話だとは思うが、相手チームからすると仙台サポが応援しないのは有利になると思うのではないか。特にホームではそういった点を考えた方が良いと思う。
- ●:確かに難しくて、そこは表裏一体の話。何を優先するかということだと思う。
- ○:中心部の皆さんには、いつも様々な工夫をしながら応援をリードしていただいていることに感謝している。そのうえでお願いがある。水戸戦でも横断幕をひっくり返したり中心部の皆さんが試合前にいなくなったりと、我々がよく状況を把握できないようなことが起きている。少しでも周知があれば安心して応援ができるので、その点は少し考慮してほしい。
- ●: 先ほどもあったように、周知については今後検討していきたい。
- ○:周知については、例えば J リーグチケットでは好きなクラブを登録していて、その登録者だけにベガルタ情報がメールで送られてくるが、そのシステムをうまく活用できれば他クラブサポーターへの情報拡散を防げるのではないか。

- ○:情報漏洩を防ぎたいのであれば、中心部の LINE で、その日の座席番号を登録した方だけに情報を送るなどの方法も考えられるのではないか。
- ○:問題はタイミングのような気がするので、応援開始の 15 分前などに行えば、差別化しなくても LINE 等で情報 発信して良いのではないか。
- ●:ご意見をいただき感謝する。そういったご意見も含めて今後検討していきたい。
- 〇:アウェイ戦で、最近は中心部の皆さんが端の方に陣取ることが多いが、できれば応援エリアの真ん中に陣取ってほしい。その方が応援は盛り上がると思う。
- ●:端の方に陣取っているのは、前回のサポーターズミーティングでも話をしたように、様々なサポーターのエリア分けをしやすくするように考えてのもの。ただ、声出しが解禁になってからは、真ん中に陣取った方がいいかとも考えており、少し迷っている。その辺は、当日の状況、エリアの広さ、集客状況などによってどこの位置が良いかを試合毎に判断していく方向で考えていきたい。
- ○:J1 復帰後の話になるが、埼玉スタジアムでは中段の真ん中に陣取ってほしい。
- ●:我々も埼スタは中段の真ん中が良いと思っている。
- ○:昨年行ったアウェイ戦向けの寄せ書きがすごく良かった。大変だとは思うが、今年もやると良いのではないか。
- ●:昨年と同じ方法で良いのかというのはあるが、何かできないか考えてみたい。
- ○:選手と一緒に戦うためには、相手選手へのブーイングなどはやめるか短くして、その時間をチームコールなど の応援に使ってほしい。
- ●:ブーイングが有効な場合もある。声出し応援の際のブーイングは、やるタイミングをよく考えてだと思う。
- ○:中心部からは、水戸戦の応援はどのくらいの声量だと感じたか。
- ●:最初の5分くらいはいつもより個々の声は出ていたと思う。その後は試合展開もあったと思うが、想像していたよりは声量が落ちたように感じる。チケットが完売していた割には空席があった影響もあるとは思う。
- ○:同じ東北のクラブとの試合をどう位置付けているか。42 試合の中の1 試合というイメージか。最終戦がアウェイ秋田ということもあり聞いてみたい。
- ●:サポーター目線で言うと、数ある試合の中の1試合という位置付けで考えている。先ほども言ったように一戦 一戦を大事に戦っていくということだと思っている。そこは人それぞれの考えがあるが、秋田での最終戦について もその時のチーム状況によって変わってくると思う。
- ○:前回のサポーターズミーティングにも参加したが、こういった話し合える場はとても大事だと思う。今日もきちんと話を聞いてもらえたのは良かった。今後もぜひ定期的に開催してほしい。
- ●:今後も市民後援会と連携して定期的に開催していきたい。やはり生の声は大事だし、いろんな考えを聞いていきたい。SNSの中で間違った情報に対して自ら否定に行くのもどうかと思っているが、こういった対面の場をうまく使って情報発信や話し合いをしていければと思っている。

チームの状況は厳しいが、サポーターもファイティングポーズをとり続けていく必要がある。プレーオフも見据えながら、今後どのようにサポーターがまとまっていくかが大事。みんなでしっかり応援していきましょう。

<上記以外の主な意見交換内容>

- 最近のサポーター層について
- ・中心部に入ったきっかけについて
- ・応援歌を作ってほしい選手について

以上